

# あふりね通信



相模原市立相陽中学校  
学校だより 第3号  
令和8年 6月1日

学校教育目標：心ゆたかで 主体的に行動できる 生徒の育成

## 犯罪と幸せ

校長 渡部 賢一

近年 SNS 等を介して青少年が「闇バイト」と呼ばれる実行犯の募集に応じ、重大な犯罪が起きているケースが全国的に深刻化しています。5/20（水）には教育長メッセージを全校放送で伝えるとともに、「バイトでなく犯罪です。私は相陽中がウェルビーイングになってほしいと思うとともに社会もウェルビーイングになってほしいと思っています。自分の幸せ、みんなの幸せのために、犯罪には関わってはいけなし、関わらせてもいけません。困ったときは大人に相談してください」と生徒に伝えました。

### ウェルビーイング



私も幸せ、あなたも幸せ  
幸せすぎたら分け合って  
辛い思いも分け合って

どうしてこのような犯罪が起きるのでしょうか。

学校教育の中で考えさせることは出来たでしょうか。我々大人はちゃんと教えてきたでしょうか。未来を想像する力を身に付けさせたでしょうか。人の気持ちを想像する力を身に付けさせたでしょうか

### 未来を想像する力

一時の身勝手な欲求を満たした、そのあとはどう生きていくのか。いつまでやるのか。5年後どこで何をしているのか。友達はあるのか。10年後、自分で作った居心地のよい場所、自分ため、大切な人のため、社会のために力を発揮し、幸せになっているのか。

### 人の気持ちを想像する力

自分や、自分の大切な人が同じことをされたらどんな気持ちになるか。悲しい気持ち。「やめろよ」「やめときな」が言えたか、言えなかったら誰かに相談できたか。「ありがとう」はどんな時に言いたくなるか。言っているか。どんな時に言われたいか。

### 学校教育の中で考えさせることが出来たか

出来ない部分もあったと思います。その部分については改善するとともに、学校・保護者・地域の大人が連携して、考えさせたり、行動させたりしていかなければならないと思います。嫌な思いをするかもしれませんが、協力してやっていければと思います。一方的に教えるのではなく、対話の中から気づきを促すことができると一番よいと思っています。

生徒達が将来活躍する社会が、魅力的で幸せな社会になるよう、教育活動を進めてまいります。

## 自己生活力育成部（丹波先生より）からのメッセージ

新年度のスタートに伴い、皆さんの周りでは「外側の景色」がガラリと変わりました。新しい教室、新しいクラスの顔ぶれ、始業式では、この「外側の景色」ではなく「内側の景色」、つまり皆さんの「心の内側」について話をしました。気持ちは「形」になります。「気持ち」は、本来、目に見えず、手で触れることもできません。しかし、ふとした瞬間に、誰もが見える「形」となって外側に溢れ出してくることがあります。例えば、あなたの心の中に「あったかい気持ち」があるとき。それは「よし、やってやる！」という前向きな態度になり、「いいやん！」という肯定的な言葉になり、困っている仲間を「大丈夫かな」と見守る優しい視線になります。一方、もし心の中が「冷たい気持ち」で支配されていたらどうでしょう。それは「だるい」「めんどくさ」という投げやりな態度になり、「面白くない」「嫌だ」という否定的な言葉になり、誰かの失敗を「だっさw」と笑う冷ややかな視線になって現れます。「どう振る舞うか」という基準は、常に自分の内側にあるのです。新年度が始まった今、皆さんに問いかけます。「みんなはどうしたいですか？」「どんな学校で生活したいですか？」「どんな人間になりたいですか？」学校という場所を「安心できる場所」にするのか、「居心地の悪い場所」にするのか。そのスイッチは、皆さん一人ひとりの「気持ち」にかかっています。

新年度のスタートに伴い、皆さんの周りでは「外側の景色」がガラリと変わりました。新しい教室、新しいクラスの顔ぶれ、始業式では、この「外側の景色」ではなく「内側の景色」、つまり皆さんの「心の内側」について話をしました。気持ちは「形」になります。「気持ち」は、本来、目に見えず、手で触れることもできません。しかし、ふとした瞬間に、誰もが見える「形」となって外側に溢れ出してくることがあります。例えば、あなたの心の中に「あったかい気持ち」があるとき。それは「よし、やってやる！」という前向きな態度になり、「いいやん！」という肯定的な言葉になり、困っている仲間を「大丈夫かな」と見守る優しい視線になります。一方、もし心の中が「冷たい気持ち」で支配されていたらどうでしょう。それは「だるい」「めんどくさ」という投げやりな態度になり、「面白くない」「嫌だ」という否定的な言葉になり、誰かの失敗を「だっさw」と笑う冷ややかな視線になって現れます。「どう振る舞うか」という基準は、常に自分の内側にあるのです。新年度が始まった今、皆さんに問いかけます。「みんなはどうしたいですか？」「どんな学校で生活したいですか？」「どんな人間になりたいですか？」学校という場所を「安心できる場所」にするのか、「居心地の悪い場所」にするのか。そのスイッチは、皆さん一人ひとりの「気持ち」にかかっています。



## 生徒会長（津浦さん）からの全校生徒の皆さんへ

新学期を迎えてから約2か月が経ちました。私たち生徒会本部は「全員でつくっていく学校」という活動目標を掲げ、日々活動しています。その第一歩として、6月4日に生徒総会を実施します。生徒総会とは年に1度、各委員会の活動方針について全校で話し合う大切な学校行事です。一人ひとりが相陽中生だという自覚を持ち、自分たちのこととして参加しましょう。また、生徒会本部では7月の全校集会や2学期の相陽祭に向けての準備も進めています。全校集会では、いつもとは一味違う企画を実施する予定です。ぜひ7月まで楽しみに待っていてください。相陽祭実行委員会では「史上最高」の相陽祭を作り上げるために何度も話し合いを重ねている最中です。生徒会本部では「全員でつくっていく学校」の実現に向けて活動していきますので、今後ともご協力をお願いします。



## 2年生 鎌倉校外学習

6/16（火）に鎌倉校外学習に行きます。

テーマは、『鎌故知新』～古都に学び、つなげる～  
学校集合（7:20頃）班ごとに出発

→鎌倉方面にて班別行動（昼食含む）

→茅ヶ崎駅にてチェック →

各自最寄りの駅にて下車（16:00頃）



## 3年生 京都・奈良修学旅行

6/14（日）～16（火）に京都・奈良修学旅行に行きます。テーマは、『京都いう日を忘れては奈良ぬ』

1日目：小田原駅（8:22発）→京都駅（10:06着）→奈良見学・京都体験学習→宿舎

2日目：宿舎→公共交通機関による京都市内班別行動→宿舎

3日目：宿舎→班別行動（班毎に分かれ、タクシーによる京都市内班別行動）→京都駅（15:24発）→小田原駅（17:04着）



鎌倉校外学習実行委員長を務める大久保です。

校外学習の目標は、「大仏☆好きすぎて☆滅」です。今回、私がどうしても皆さんに質問したいことがあります。「皆さんはどんな鎌倉校外学習にしたいですか。」そう聞かれたら、何と答えますか。「班員との思い出をたくさんつくりたい」そんな人もいれば、中には「何となく、行かなきゃいけない行事」と感じている人もいるかもしれません。「学ぶとは心に新しい窓を開くこと。そこから見える景色は昨日とは全く違う。」これは、ヘレン・ケラーの言葉です。学ぶことで、景色さえも、新鮮で特別なものになる。校外学習は、実際に歴史や文化に触れ、目で見て、耳で聞いて、空気を感じることで教科書では味わえない発見に出会える場です。私達実行委員会は、今日まで何度も話し合いを重ねながら準備を進めてきました。それは、皆さんの「楽しみたい」という思いに応えたいからです。実行委員一人ひとりが、思いと情熱を持って、この鎌倉校外学習に向き合ってきました。だからこそ当日は仲間と協力しながら、たくさん学び、たくさん笑い、誰にとっても「行って良かった」と思える「最＆高な鎌倉」にしましょう。

## 「京都いう日を忘れては奈良ぬ」修学旅行実行委員 3-4 澤田葉月さん

私達の修学旅行のスローガンは、「京都いう日を忘れては奈良ぬ」に決まりました。このスローガンには、平和な旅・絆を深める旅・成長する旅という3つの意味があります。「平和な旅」には、ルールを守る・周りの人を嫌な気持ちにさせず平和に終わりたいという願いが込められています。「絆を深める旅」には、人の気持ちを考えて行動する、三学年の絆をさらに深めるという意味が込められています。「成長する旅」には、想像力を働かせていろんな立場から物事を考えるという意味が込められています。そして京都や奈良で過ごす一日一日を大切に、思い出に残る修学旅行にしたいという意味が込められています。学習のテーマは「未来のために～みんなが幸せな旅とは～」です。旅行者・地域住民・未来の人の3つの立場から、幸せな旅とはどのような旅かを探究します。帰ってきた後に「最高の修学旅行だった」と全員が思えるように、三年生全員でスローガンや学習テーマを意識して行動していきます。

